

ほっと一息通信

こんにちは。子供のころ、秋は山へ、アケビをよく取りに行った上野邦雄です。

近所のあそびの仲間2、3人で近くの山へアケビを取りによく行ったものです。

自分の体より大きな袋いっぱい取ってきて、帰ってから山分けしたものです。

(笑)

アケビの実はとても

甘くたくさん食べました。

食べたといってもアケビの実はほとんど種なので、口の中に含んで後は種を全部吐き出してしまいうので、実際に腹の中に入るのは種を包んでいる甘いゼリーのようなものなので数を食べなければ腹がふくれません。(笑)

つい最近知り合いからアケビをもらいました。見た瞬間おおー！めずらしい、久しぶりにアケビを見てうれしくてつい3個ほど食べてしまいました。

孫のはるか(小5)が帰ってきてテーブルの上においてあるアケビを見て「それ何！」私「アケビ

いうがや」はるか「どうやって食べるの」

私「開いている中のすきすきなところを食べるがや、そして種を吐き出すがや

ぞー、まあ少しぐらい食べてもいいかも後で出るかもしれん」孫のはるかはなんと私と同じ3個食べてしまいました。

この子は木の実が大好きで桑の実やグミなどもよく食べています。

もうひとりの男の子はぜんぜん興味がなくそっけないものです。

私「おい！淳也アケビやどー」男の子「ふーん」終わりです。(笑)

今は中国などの食材から農薬が混入していたり偽装だらけの食材が蔓延しています。たまには自然の無農薬のアケビなど食べてみてはいかがでしょうか。妻に聞くとスーパーにアケビが売ってあるそうです。(知らなかったー)(笑)

家庭菜園その後の後

今年初めて野菜を作ってみて大変勉強になりました。野菜の木はピークが過ぎて枯れたように見えても、切ったり、引き抜かない限り生きていますね。



ツルマメの木だけ青々しています。

びっくりしました。(当たり前前的ことかも知れませんが)だんだん実がつかなくなり自然に枯れていくものだと思っていましたが、

なかなか死なないものだと分かりました。

トマトもキュウリもナスビもそうです。



この変形のナスビはいつまでも元気です

ナスビはだんだん枯れたようになってきましたが、1本だけ(左の写真)はまだ元気で実も赤々として枯れる気配はありません。

この実は姿はカボチャのような立にしわがあり、色艶は赤くてトマトのようです。

茎と葉にトゲがあり、こんなナスビは見たことがなく、驚いた中の一つでした。

今年初めて野菜を作ってみて、簡単そうでむずかしくて奥が深いように思いました。

私は土を耕して植えてほおって置けばそれでよいと思っていました。（実は今もそんな気持ちが強い）肥料や消毒、風に倒されないように支えの棒を添えてやるとか、雑草をむしるとか手がかかります。

今上げた中で実施したのは支えの棒を添えただけです。（笑）

実は雑草をむしらなくてほったらかしにして失敗した野菜があります。

それはスイカとウリです。

ある日ホームセンターの苗を展示してあるところに行きますとスイカ（黒いスイカ）の苗が2本だけ売れ残っていました。

それとメロンウリと名前は忘れましたが、昔から親父がよくつくっていた黄色いウリの苗を買ってきて今の畑と違った場所（雑草の生い茂っている）に植えてみましたが、収穫は小さな黒くない小玉スイカ1個とウリが2個（まともに食べられるものはなかった）だけでした。



この後草だけがどんどん高くなってただの雑草畑になりました（笑）

それは草が生い茂ってスイカやウリの木が見えなくなるほどになり、どこに

スイカやウリの玉

があるのか雑草をより分けて探すのに一苦労しました。（笑）

後で叔父さんなどから話を聞くと、普通は蝶々が受粉をしてくれるのだが人間の手で受粉してやらなければ玉が付きにくいとのことでした。

そんなことも知らずにほったらかしにして、そして除草もしないので蝶々が飛ぶすきまもないほどになっていたことが原因のひとつだったと反省しています。

家族に黒いスイカを植えたから楽しみにしておれよと言って喜ばせておいたのですがこのざまです。（笑）



人の家の畑を見るとききれいに除草してわらをしいて、どこにスイカの玉があるのか見えるようになっていきます。

私のように手で草をかき分けて探さなければならぬような畑はどこにもありません。（笑）

来年は今年の教訓を生かしてもっと他の家の畑に近づけるようにしたいと思っています。

しかし、「無農薬・無肥料」で作ろうと思っていますので、今年より駄目になる可能性があります。

ことしのツルマメの木は力強く育ったのですが、ツルマメは大げさに言ったら3つにひとつ虫に食べられました。

でも私の野菜作りの目的は「無農薬・無肥料」の野菜をつくることですのでこれにめげずに頑張りたいと思っています。

【調べたことなのですが、無農薬・無肥料の野菜は虫も食べないそうです】

創業時からのお付き合い

今回ご紹介するのは高岡市明園町にお住まいの高田宗良様ご夫妻です。

高田様とは私が独立した時一番初めに増築工事をさせていただき、それからずっと親戚以上のお付き合いをさせていただいております。



写真が少しブレました。すみません

何かと高田様のお宅へお邪魔をさせていただき、私のよた話を聞いていただいたり、相談相手になっていただいたりとお世話になりっぱなしの上野です。足を向けて寝られない方です。本当にありがとうございます。

これからもよろしく願いいたします。

この通信を3回サボりました。今年一年ありがとうございました。良いお年をお迎え下さい。上野邦雄

この通信を3回サボりました。今年一年ありがとうございました。良いお年をお迎え下さい。上野邦雄